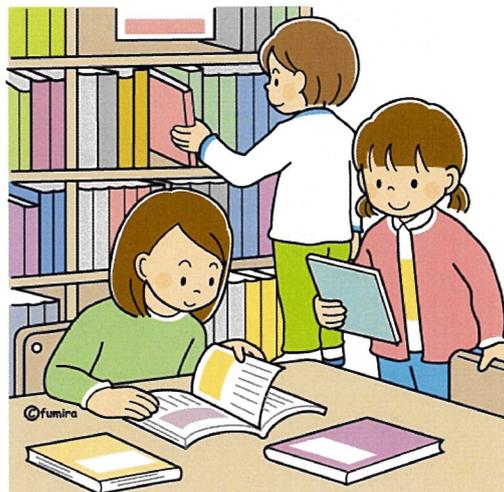

令和7年度ふれあい活動委嘱事業
ふれあい読書研究会
(まとめ報告書)



熊本県PTA連合会

目次

☆委嘱校

☆活動報告

1. 玉名市立玉名中学校PTA . . . 1
2. 合志市立合志南小学校PTA . . . 2～3
3. 菊陽町立武蔵ヶ丘中学校PTA . . . 4～5
4. 阿蘇市立一の宮中学校PTA . . . 6
5. 御船町立七滝中央小学校PTA . . . 7
6. 益城町立木山中学校PTA . . . 8
7. 宇土市立宇土小学校PTA . . . 9
8. 上天草市立龍ヶ岳小学校PTA . . . 10～11
9. 天草市立栖本小学校PTA . . . 12
10. 八代市立二見小学校PTA . . . 13～14
11. 芦北町立大野小学校PTA . . . 15～16
12. 人吉市立東間小学校PTA . . . 17

委嘱校

	ブロック	エリア	単位PTA名
1	県北	玉名市	玉名市立玉名中学校PTA
2		合志市	合志市立合志南小学校PTA
3		菊池郡	菊陽町立武蔵ヶ丘中学校PTA
4		阿蘇郡市	阿蘇市立一の宮中学校PTA
5		上益城郡	御船町立七滝中央小学校PTA
6		上益城郡	益城町立木山中学校PTA
7	県南	宇土市	宇土市立宇土小学校PTA
8		上天草市	上天草市立龍ヶ岳小学校PTA
9		天草郡市	天草市立栖本小学校PTA
10		八代郡市	八代市立二見小学校PTA
11		葦北郡	芦北町立大野小学校PTA
12		人吉市	人吉市立東間小学校PTA

ふれあい読書研究会活動報告書

令和7年度

単位PTA名 (玉名市立玉名中学校)		児童生徒数 (678) 人													
1. 予算執行状況 (収入・支出)															
(収入)	県P 50,000円 単P 0円 その他	(支出)	50,000円												
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 不足分 266 円は 2020 年玉名市読書推進事業の残金より支出 </div>		<table border="1"> <tr> <td>書籍 (紙芝居 2 つを含む)</td> <td>27,250 円</td> </tr> <tr> <td>大型絵本</td> <td>9,900 円</td> </tr> <tr> <td>板目表紙</td> <td>300 円</td> </tr> <tr> <td>本棚</td> <td>2,480 円</td> </tr> <tr> <td>紙芝居枠セット</td> <td>10,336 円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>20,266 円</td> </tr> </table>		書籍 (紙芝居 2 つを含む)	27,250 円	大型絵本	9,900 円	板目表紙	300 円	本棚	2,480 円	紙芝居枠セット	10,336 円	計	20,266 円
書籍 (紙芝居 2 つを含む)	27,250 円														
大型絵本	9,900 円														
板目表紙	300 円														
本棚	2,480 円														
紙芝居枠セット	10,336 円														
計	20,266 円														
2. 活動内容・成果・反省															
◎活動内容															
<ul style="list-style-type: none"> ・朝読書の時間に読み聞かせボランティア「とわの木」による絵本の読み聞かせを、全クラスで年3回ずつを行った。(1年生の9月は雷雨による遅延登校により中止) ・学校図書館の新着図書の紹介を読み聞かせの後に行った。 ・読み聞かせをした本のポップ作成を図書委員の生徒とコラボレーションをして行った。 ・茶話会を開催し、情報交換や活動の提案などについて話し合った。 															
◎成果															
<p>「とわの木」の活動として、学校との連携がとれており、読み聞かせ前後には、各クラスの図書委員が教室へと案内して、ボランティアとの会話を楽しんでいる。その際に感想を伝える生徒の姿もある。また、教室で待っている子ども達も、「今日は誰が来てくれるのだろうか」と予想する姿もあり、楽しみにしている様子がある。</p>															
◎反省															
<p>現在15名のボランティアで活動しているが半数以上が保護者OGや地域の方である。今年度は声かけをして数名増員したが、あと数名メンバーが増えるとより充実した活動にすることができないのではないかと考えている。また、男性の読み手さんも欲しいが、PTA総会等で許可をいただき呼びかけたが、保護者の参加希望の応募はなかった。</p>															
3. 今後の取り組みについて															
<p>中学生ということもあり、絵本の読み聞かせだけでなく、メンバーのなかには素話しや朗読をする人もいる。今回いただいた補助費で購入した紙芝居や大型絵本の活用により、「とわの木」の活動の幅がさらに広がることを楽しみにしている。</p>															
4. 要望・その他															
<p>今回購入した本はボランティアのメンバーが一人一冊自分のおすすめを選定した15冊です。平成28年度のふれあい読書研究会に参加したときの活動費で作られた「とわの木文庫」に追加させていただきます。時代の流れに合わせて、出版される本の内容も変わってきます。子ども達の世界が広がる読み聞かせ活動を進めていきます。</p> <p>今年度は委嘱校として選んでいただき、本当にありがとうございました。</p>															

ふれあい読書研究会活動報告書

令和7年度

単位PTA名（ 合志市南小学校PTA

） 児童生徒数（ 717人 ）人

1. 予算執行状況（収入・支出）

（収入） 県P 50,000円
単P
その他

（支出） 児童用図書購入等 50,000円

2. 活動内容・成果・反省

◎活動内容

・読み聞かせボランティア活動

読み聞かせボランティアの『お話ポケット』の方々により、毎週木曜日15分の読み聞かせを行っている。クラス毎に1人担当のボランティアがおり、お話ポケットの代表者何名かで厳選した選書リストの中から、学年ごと、月ごとに1冊選んで実施している。15分の時間が残りそうなきときには季節や行事にちなんだ本や、担当者の好きな本を1～2冊選んで15分のプログラムになるように毎週準備をしている。

・南小フェスティバル

11月22日（土）に子どもたちが地域や保護者と関わりながら学び、体験できる『南小フェスティバル』を開催。校内に44のブースを設け、保護者の仕事紹介、琴や車椅子バスケットボールの体験、ミニ畳作りなどの制作など多様な内容を実施しています。普段触れることのない文化や暮らしの違いなどにも触れ、子供たちが体験を通して感じたことや感謝の気持ちを講師の方々へお届けし、地域との絆を深める機会にもなりました。



◎成果

① 読書活動の定着と読書意欲の向上

毎週木曜日に継続して読み聞かせを実施することで、子どもたちが読書に親しむ時間が日常の一部として定着した。学年ごとに選書された本を通して、発達段階に応じた物語や表現に触れる機会が確保され、読書への興味・関心を高めることにつながった。また、季節や学校行事に合わせた選書や、担当ボランティアの工夫により、子どもたちが楽しみに待つ時間となっていた。

② 地域ボランティアとの連携強化

「お話ポケット」のボランティアの方々がクラスごとに継続して関わることで、子どもたちとの信頼関係が築かれ、落ち着いた雰囲気の中で読み聞かせを行うことができた。代表者による選書リストの作成や情報共有により、活動の質が一定に保たれた点も成果である。

③ 体験を通じた学びと地域理解の深化

南小フェスティバルでは、読み聞かせ活動とあわせて、地域の方々による多様な体験ブースが設けられ、子どもたちは普段触れることのない文化や仕事、暮らしに触れる機会を得た。体験後には感想や感謝の手紙を通して学びを振り返り、地域とのつながりを実感する機会となった。

◎反省

・ボランティアの負担軽減と人材確保

毎週の準備や選書について、ボランティア個人の工夫に頼る部分が多く、負担が偏る場面も見られた。活動を長く継続していくためにも、役割分担の見直しや新たな協力者の確保について検討が必要である。

3. 今後の取り組みについて

読み聞かせやフェスティバル後の子どもたちの感想や反応を把握し、活動内容の改善や選書の参考として活用する。子どもたちの「楽しかった」「また聞きたい」という声を大切にしながら、主体的に読書に向かえる環境づくりを進めていく。

4. 要望・その他

特にありません。

ふれあい読書研究会活動報告書

令和7年度

単位PTA名（武蔵ヶ丘中学校PTA）		児童生徒数（824）人
1. 予算執行状況（収入・支出）		
（収入）	県P 50,000円 単P 453円 その他	（支出）50,453円
2. 活動内容・成果・反省		
◎活動内容 実施日：令和7年12月14日（日） <ul style="list-style-type: none">■ PTA主催で「地域の知恵と、読書で学ぶ防災DAY」と題して、地域の人々とのふれあいと防災を学ぶイベントを実施した。■ 民生委員さんや地域の人と餅つきでふれあい、防災を題材とした本から出題した防災スタンプラリーで、非常食と防災を学ぶ企画。■ 読書のための選書は、「学ぶ」「備える」「伝える」の観点から25冊、学校蔵書と重複が無いように、また長崎書店のコンシェルジュの助言をいただきながら選書した。■ 学びを深めるスタンプラリーは、選書した中から問題と解説を作成。スタンプラリーの景品として菊陽町危機管理防災課からカロリーメイトを協賛していただいた。■ ICTを活かす観点から、内閣府防災が作成した動画を図書室で再生。イベント後に振り返ることのできるようQRコードも参加者に提供した。■ ホームセンターの協力を得て、防災グッズの展示も実施した。		
		
◎成果 <ul style="list-style-type: none">■ 阿蘇や東北地方の地震の直後だったこともあり、スタンプラリーの正解者が多く、参加者の関心は高かった。■ 本、ICT（内閣府動画、町のホームページ）といった、「防災知識の習得経路の多様化」を学ぶ、親子での新たな読書の形を提案できた。■ スタッフも参加者も、協力していただいた地域の人々としっかりと触れ合うことができた。		
◎反省 <ul style="list-style-type: none">■ 餅つきとスタンプラリーに生徒が集中し、読書の時間が短くなってしまったのは、イベントとして同時に実施する際の課題として残ったと感じている。		
3. 今後の取り組みについて		
■ 今回のイベントでは、図書・動画・自治体HP（ハザードマップ）など多角的な情報源に触れるきっかけを作ることができたが、一方で体験活動に時間が集中し、読書による「深掘り」が不足したという課題が見えた。今後は、餅つきなどの体験活動と読書スタンプラリーの時間帯を分ける、あるいは「読み聞かせ」のノウハウを活かして、地域の保育園での活動に防災絵本を取り入れるなど、「体験」と「読書」を組み合わせた継続的な学習機会を、学校とともに計画していきたい。		

4. 要望・その他

- 委嘱事業の継続に関する要望
この度は、PTAが主体となり、学校・家庭・地域が連携した新たな読書活動へ挑戦する機会をいただき、深く感謝申し上げます。非常に意義のある取り組みであると実感したため、今後も本委嘱事業の継続を強く希望いたします。
- ソフト面での支援メニューの拡充
今回は書店のコンシェルジュの助言をいただき選書を行いました。学校蔵書との重複を避けつつテーマに沿った本を選ぶ作業には苦勞いたしました。今後は、県の「肥後っこいきいき読書アドバイザー」や県立図書館のコンシェルジュから直接選書のアドバイスを受けられるような、専門家派遣などのソフト面での支援が拡充されると大変助かります。
- 柔軟な制度運用の検討
今回の反省点として、体験活動（餅つき等）との兼ね合いで「読書時間の確保」が課題となりました。単発のイベントに留めず、今回購入した選書を活かして保健委員会が保育園で読み聞かせを行うなど、一つのテーマを数年かけて深掘りできる仕組みが理想的です。委嘱期間を最大3年とするなど、年度をまたいだ継続的な活動がしやすい制度運用について、ぜひご検討いただけますと幸いです。

ふれあい読書研究会活動報告書

令和7年度

単位PTA名（阿蘇市立一の宮中学校PTA） 児童生徒数（195）人	
1. 予算執行状況（収入・支出）	
(収入) 県P 50,000円 単P その他	(支出) 生徒用図書購入費 50,000円
2. 活動内容・成果・反省	
◎活動内容	
<ul style="list-style-type: none"> ・図書室における読書環境の充実のため、生徒会図書委員会を中心に、新書や話題の出版物等が生徒の目につき、多くの生徒が図書室の本に触れ読書量が増えるよう月1~2度書架台での展示を工夫している。 ・給食の放送時や学習成果発表会において図書委員会で「ビブリアラジオ」を企画し、生徒や教職員による本の紹介を行い、読書への興味関心を高める活動を行っている。 ・生徒に足を運んでもらえる学校図書館となるようコミックのリクエストを募集し、人気のあったコミック74冊を購入した。日頃より生徒からのリクエストを購入することで魅力的な学校図書館づくりに努めている。 ・読書が身近に感じてもらえるよう、最近ではクリスマスに関する本やおすすめの本を紹介するアドベントカレンダーを作成した。また、読書週間に合わせた読書イベントも行った。 ・給食準備中に読書をするという学校全体の取り組みがあり、各学年に学年文庫を設置することで学校図書館だけでなく本が身近にある環境づくりを行っている。地域の公共図書館と連携し、学期毎に本を入れ替えている。 	 
◎成果	
新書や展示コーナーに関して、面陳することで生徒の興味を引き出せており、手に取ってもらえる回数は増えている。また、ビブリアラジオで紹介された本はその日のうちに学校図書館内に展示し、生徒の興味関心が高まっている状態で本を提供できている。学校図書館での貸出は少ない生徒も、学年文庫があることで本に触れられる環境づくりは整っていると考える。また、学年文庫を読む場合は名簿に記入するというルールがあるため、個人の貸出冊数としてカウントすることができる。同時に、卒業時に貸出冊数が0冊の生徒を減らす目的も達成できることとなる。	
◎反省	
多くの生徒に本の推薦文作成に取り組みさせる目的で「読書推薦文コンクール」への応募を企画していたが、未応募に終わっている。今年度の応募は終わっているため、来年度は生徒会図書委員会主体となって行いたいと考えている。	
3. 今後の取り組みについて	
<ul style="list-style-type: none"> ・教職員のおすすめ本を紹介する展示を企画中である。それぞれのあらすじやおすすめポイントが書かれた用紙と本を展示することで、生徒の読書への興味関心を高める目的がある。 ・来年度入学する一の宮小学校の6年生へ向けて、図書委員が「中学生になったら読んでほしい本」を選書し、小学校で紹介および貸出を実施する。 ・学校図書館や本に対する苦手意識ならびに敷居の高さをなくす目的で、司書自作の開運本紹介おみくじおよび本の福袋を作成し、新春イベントを実施する予定である。 	
4. 要望・その他	
特になし	
	 

ふれあい読書研究会活動報告書

令和7年度

単位PTA名 (七滝中央小PTA)	児童生徒数 (72) 人
1. 予算執行状況 (収入・支出)	
(収入) 県P 50,000円 単P その他	(支出) 本の購入 50,000円
2. 活動内容・成果・反省	
◎活動内容	
①読み聞かせ (毎週水曜 8:20~8:30) 読み聞かせボランティア8名が朝の時間に各教室で読み聞かせを行っている。今回の補助金で購入した本を読み聞かせのお話に活用できた。子供たちは、どんなお話が聞けるのだろうか毎回楽しみにしている。	
②読み聞かせロング (12月 1時間の実施) 全校児童対象に、ペープサートや紙芝居によるお話会を12月に実施した。学校近くの上野保育園や福祉施設にも呼び掛けた。児童は、お話の世界に浸ることができるこの時間をとても楽しみにしており、温かい雰囲気にも包まれた。	
③給食×図書コラボメニューの実施 本校は御船町の中でも唯一の自校給食であるため、御船町での取り組みに加えて追加でコラボメニューが登場した。11月に「おなべおなべにえたかな?」のコラボメニューで「ニンジンスープ」、「サラダでげんき」のコラボメニューで「りっちゃんサラダ」ぐりとぐらとすみれちゃん」のコラボで「かぼちゃコロケ」がメニューとして登場し、給食時の校内放送で紹介した。12月以降も実施予定である。	
④おうちで読書ビンゴ 本校では、「家で本を読んでいるか」というアンケートに保護者の51%、児童の64%が肯定的な回答をしており、家であまり本を読んでいるという結果が分かった。そこで、保護者と児童と一緒に本を読む機会を作ろうと、図書委員会が「おうちで読書ビンゴ」という取り組みを行った。項目の中には、「家の人に読み聞かせをする」というものがあった。特に低学年が全ビンゴ達成者が多かった。	
◎成果 本の新規購入ができたことにより、読み聞かせに活用できたり学級文庫として学級での本読みに活用できたりした。	
◎反省 前期に児童が家で本を読む姿があまり見られなかったという反省があった。後期の改善に期待したい。	
3. 今後の取り組みについて 家庭で本を読む習慣をつけさせるための取組を考えていく必要がある。ノーメディア週間と合わせるなど学校と家庭が無理をしないで取り組めるアイデアを考えていきたい。	
4. 要望・その他 本の購入予算が限られている中、本の購入に充てることができ、感謝申し上げます。今後も、本の購入のみならず、読み聞かせなどの活動支援の補助として使っていただきたいと思います。	

ふれあい読書研究会活動報告書

令和7年度

単位PTA名 (益城町立木山中学校)		児童生徒数 (270) 人	
1. 予算執行状況 (収入・支出)			
(収入)	県P 50,000円 単P その他	(支出) 50,000円	内訳 Dr.STONE 全27巻 宇宙兄弟 45巻 製本代
2. 活動内容・成果・反省			
◎活動内容 今年度の委嘱式の講演で、合志マンガミュージアムの橋本館長の貴重なお話を聞かせいただき大変感銘を受けました。 本離れ、活字離れが急速に進む中で、まず読書に対する関心を持たせるための導入として漫画の活用をご紹介されていたので、さっそく学校とPTAとで協議して、本校でも漫画本を購入することにしました。			
◎成果 図書先生と図書委員会の協力のもと、東大生が選ぶおすすめランキングより、Dr. STONEと宇宙兄弟の漫画を選びました。 元々、木山中学校の図書室には、先生方や図書委員の尽力により、生徒も大人でも興味を引く、様々なジャンルの図書が並べてありましたが、今回のご支援のおかげで、一気にたくさん本を揃えることができました。多くの生徒の興味を引くことができ、より活気のある図書室となりました。			
◎反省 保護者に対して情報発信不足により、ふれあい読書研究会としての活動内容が十分に伝わらなかったように思います。 保護者や地域と情報共有し、読書への関心がさらに高まるよう働きかけていきたい。			
3. 今後の取り組みについて			
今後、続編のある本を補いながら、生徒たちの興味を途切れさせることのないように継続的な活動をしていきたい。 読書がもたらす効果を最大限に活かすために、アウトプットを意識した活動に取り組んでいきたい。 生徒たちの読書活動を育むために、学校と連携・協力しながら、図書室の環境整備に努めていきたい。			
4. 要望・その他			
ふれあい読書研究会の委嘱を受けさせていただき、学校とPTAが連携して充実した取り組みをすることができました。本当にありがとうございました。 今後ともよろしくお願いいたします。			

ふれあい読書研究会活動報告書

令和7年度

単位PTA名（宇土小学校PTA）	児童生徒数（580）人	
1. 予算執行状況（収入・支出）		
（収入） 県P：5万 単P：1万 その他：0円		（支出）6万
2. 活動内容・成果・反省		
◎活動内容 ・毎週火曜日に、2学年（例：1年生と4年生など）の各クラスの朝礼前に、よみきかせ隊（保護者と地域ボランティア）で、よみきかせ活動を実施しています。また、各学期のお昼休みに「よみきかせスペシャル」と題して、体育館で全学年対象の読み聞かせを実施しています。		
◎成果 ・今年も予定通りの活動を実施しており、子供たちから大好評です。 毎週火曜のよみきかせと、各学期のよみきかせスペシャルを2度実施。		
◎反省 ・取りまとめ役の、よみきかせ隊長（保護者から選出）の成り手不足。 ・子どもたちから喜ばれている事業だけに、今後も継続できるよう担い手育成を行う。		
3. 今後の取り組みについて		
・引き続き、いままでの活動を継続していく。 ・委嘱式の際に講師をされた、合志マンガミュージアム 橋本館長からも熱いお話があったので、学校図書館へマンガを寄贈できないか、学校と話し合いを行いたい。		
4. 要望・その他		
・要望としては、橋本館長の講話にあったとおり、「マンガの効用をPTAが理解し、学校側へさまざまな形で働きかけ」をお願いしたいです。実際に、学校側へ研修の内容を説明し、マンガの寄贈を提案しましたが、「司書がOKしないと、、」、「子供はマンガ以外の方がうれしいのでは、、」など理由を付けられ、学校図書室へのマンガ導入まで至らなかった。		

ふれあい読書研究会活動報告書

令和7年度

単位PTA名 (上天草市立龍ヶ岳小学校PTA) 児童生徒数 (92) 人

1. 予算執行状況 (収入・支出)

(収入) 県P	50000円	(支出) ブックトーク	5000円
単P	2313円	人形劇公演	10000円
その他	0円	図書の購入	33550円
		表彰関係費	3763円

2. 活動内容・成果・反省

◎活動内容

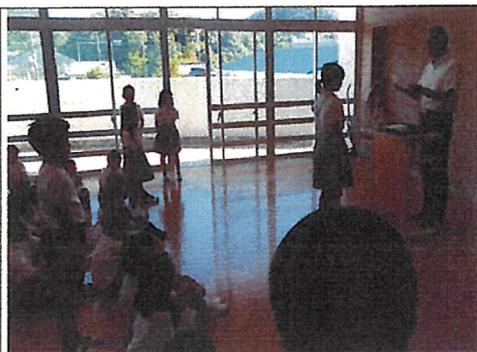
- ①絵本・読み聞かせスペシャリスト認定講師によるブックトーク「本も楽しいよ!」12月
- ・1・2年生、3・4年生、5・6年生で、それぞれで1回ずつ実施
 - ・各学年に応じた本の紹介
 - ・図書を借りる活動



- ②人形劇団「ののはな」の公演 12月
- ・人形劇「赤ずきんちゃん」の公演 (1～4年生)
 - ・登場人物の工作 (1・2年)
 - ・昔話の紹介



- ③図書委員会主催による龍ヶ岳小読書王決定戦 9月、10月、2月
- ・第1回 全児童が冊数の部またはページ数の部を選択して読書カードに記録し、上位3位まで表彰
 - ・第2回 新たに躍進賞や敢闘賞、学年の制限をして実施
 - ・第3回 第1回、第2回での受賞が少なかった3・4年生も受賞できるよう学年ごとに表彰



第2回「読書王決定戦」結果表

1位		2位		3位	
二年	二年	二年	二年	二年	二年
えん	えん	えん	えん	えん	えん
六年	五年	六年	五年	五年	六年
えん	えん	えん	えん	えん	えん

④ ボランティアによる読み聞かせ及び音読の傾聴

- ・読み聞かせ、音読の傾聴ともに月2回実施
- ・読み聞かせは学級ごと、音読の傾聴は1回で1学年が実施
- ・PTA参加による地域のボランティアによる読み聞かせを以前から実施していたが、本年度から、児童の音読の傾聴を依頼



◎成果

- ① 絵本・読み聞かせスペシャリスト認定講師によるブックトーク「本も楽しいよ！」
音をテーマに、多くの絵本の読み聞かせをしてもらいながら、絵本を楽しむことができた。本を借りる活動もあり、子どもたちの読書意欲が高まっていた。
- ② 人形劇団「ののはな」の公演
昔話「赤ずきんちゃん」の人形劇を鑑賞し、文字だけからは読み取れないところを理解したり、原作にない表現にまで想像を膨らませたり、豊かな表現力を味わったりしながら人形劇を楽しんだ。さらに、登場人物を自分の手で作る活動もあった。昔話への興味を持ち、読書意欲を高めるきっかけとなった。
- ③ 図書委員会主催による読書王決定戦
例年と違う企画で、児童の読書意欲が高まるような様々な賞を設けたことで、児童は進んで読書を行っていた。読書の個人差を減らすことにも効果があった。
- ④ ボランティアによる読み聞かせ及び音読の傾聴
読み聞かせの図書選定について、読書意欲が高まるよう児童の実態に即したものと季節・行事に関連するものを選んでもらっているが、今後、本活動で購入した図書を活用する予定である。
音読の傾聴について、学習のまとめを音読で発表する機会として活用するなど、児童の音読への意欲や技能が高まった。聴いて下さるボランティアの方が大変喜ばれていた。

◎反省

- ・2学期になってからの取組だったので、1学期から1年間かけて本活動を取り組み始めると、より効果が上がったのではないかと思います。

3. 今後の取り組みについて

- ・購入した本を活用して、読書王決定戦や読み聞かせを実施し、児童の読書意欲が高まるようにしたい。次年度も継続できる活動を工夫し、様々な企画等を行いながら取り組んでいきたい。
- ・次年度も図書購入に単位PTAの予算を活用するようにしたい。

4. 要望・その他

- ・ふれあい読書研究会を委嘱いただき、大変ありがとうございました。例年になかった活動を実施できたので、読書の活性化につながりました。

ふれあい読書研究会活動報告書

令和7年度

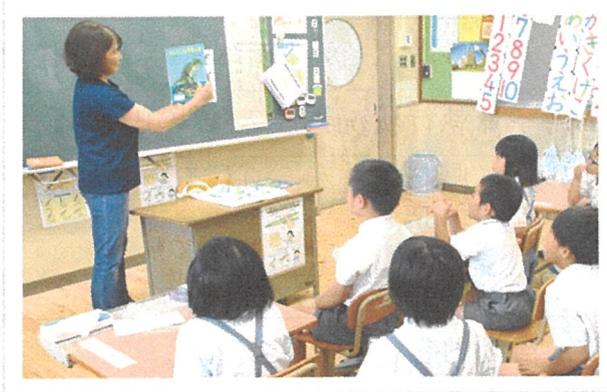
単位PTA名 (天草市立栖本小学校PTA)	児童生徒数 (59) 人
1. 予算執行状況 (収入・支出)	
(収入) 県P 50,000円	(支出) 48,341円 (摘要は別紙にて)
2. 活動内容・成果・反省	
◎活動内容 1. 学校司書および図書・ハートフル委員会の生徒による読書推進活動 2. 読み聞かせボランティア「ひまわりの会」による毎週金曜日の読み聞かせ 3. 読み聞かせボランティア「ひまわりの会」によるイベント「おはなし会」の開催	
◎成果 ひまわりの会が栖本町に伝承されている民話『イゲ神様の話』の紙芝居を制作し「おはなし会」にて発表。生徒が郷土の歴史への興味や理解を深めるきっかけとなった。	
◎反省 生徒は授業の中でも郷土の民話や歴史を学んでおり、ひまわりの会の活動とリンクすることによりさらなる学びや郷土愛を深められればと考える。今後も学校とボランティアの連携をより強化したい。	
3. 今後の取り組みについて	
1. 郷土の歴史や民話を伝承すべく紙芝居を制作する 2. 読書や物語の面白さを伝え興味を持ってもらうためにパネルシアターを制作する 3. 制作したものを保存し、語り継いでいく	
4. 要望・その他	
読み聞かせボランティアの資金不足の折にふれあい読書研究会の委嘱を受けたことを感謝しております。 念願であった郷土の歴史や民話の伝承およびパネルシアターの制作という新たな活動を展開することができませんでした。この活動が読書推進への一助となれば幸いです。	

ふれあい読書研究会活動報告書

令和7年度

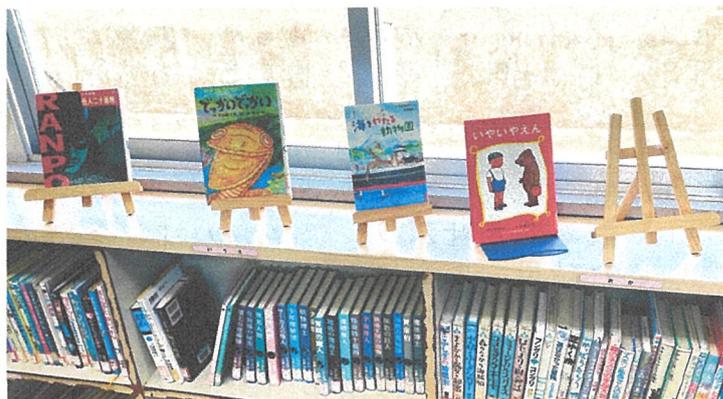
単位PTA名 (八代市立二見小学校PTA)		児童生徒数 (30) 人	
1. 予算執行状況 (収入・支出)			
(収入)	県P 50,000円 単P その他 合計 50,000円	(支出)	図書購入費 28,104円 図書館整備費 22,232円 合計 50,336円 ※336円はPTA活動費から支出
2. 活動内容・成果・反省			
◎活動内容			
【目的】 子供たちが読書を楽しむことができるよう本を購入する。さらに、読み聞かせボランティア「お話ポッケ」と連携・協働して読書に親しむ習慣を身に付け、図書館の環境を整備し、子供たちの健全育成を目指す。			
(1) 魅力的な本を購入して、読書意欲の向上を図る。			
(2) 読み聞かせボランティア「お話ポッケ」との連携及び協働する。			
(3) 図書室に季節感を感じるような飾りをする。さらに、おすすめの本を目立たせるために棚に飾りをしたり、小さいイーゼルを用いて設置したりする。			
(4) 「二見小読書だより」を定期的に発行する。			
◎成果			
(1) 読み聞かせボランティアの打ち合わせに参加し、本の選定にも協力していただいた結果、児童にとって読んでみたいと思う、素敵な本を揃えることができた。			
(2) 委員会活動時に、子供と一緒に季節に応じた飾り付けを行った。その結果、昨年度よりも図書室への来室回数が増え、読書量も増加した。			
(3) 図書室のイベントを、読書だよりで広報したり、子供の読書量の様子を広報したりして、担任の先生との連携も強化し、学校全体で取り組むことができた。			
◎反省			
(1) 読み聞かせを行っている保護者の人数が、年々減少しているため、一部の保護者の負担が大きくなっている。			
(2) スマホやタブレットの普及やGIGAスクール構想によるICT機器の活用を推し進めているため、子供の読書離れが起きているように感じる。			
3. 今後の取り組みについて			
(1) 教師も読み聞かせボランティアに参加できないか、調整中である。			
(2) 魅力的な本の中に、マンガも活用したいと考えている。そこで、マンガミュージアム様の取組を取り入れたいと考えている。			
(3) 高学年の子供が低学年の子供に読み聞かせを行うことも取り入れてみたい。なかなか難しいので、まずは、教科書の読み聞かせからやってみたい。			
4. 要望・その他			
<p>今後は、日程等を調整して「よみきか戦隊オハナシマン」様や、元熊本県民テレビアナウンサーの本橋馨様をお招きし、PTA総会や授業参観等の場を設定して、読み聞かせ及び読書の素晴らしさについて、体験的なイベントを開催したいと考えております。来年度は応募できませんが、もし可能でしたら、このようなイベント等への支援をお願いできれば大変嬉しく思います。</p> <p>この「ふれあい読書研究会」は、大変有意義で、本当にありがたい事業だと思います。今後も継続していただき、また3年後にご縁がありますことを願っております。</p>			

☆読み聞かせボランティア「お話ポッケ」による読み聞かせ！



みんな、楽しみながらも、集中して聞き入っていました！

☆新規購入本コーナーの設置や、イーゼル等の棚飾り！



一目で分かる棚へ！棚の張り替えも行い、イーゼルで目立つように設置！

☆図書室を魅力的な場所へとリノベーション！



季節に応じたイベントを開催！目標読破ページ数に応じて手作りのしおりをプレゼントする「ハッピーブック」の取組は、年間を通じて実施しています！ハロウィンやクリスマス等のイベントも開催し、ステッカー交換なども行っています！

ふれあい読書研究会活動報告書

令和7年度

単位PTA名 (芦北町立大野小学校PTA)

児童生徒数 (24) 人

1. 予算執行状況 (収入・支出)

(収入) 県P	50,000円	(支出) 交通費	46,460円
単P	0円	書籍購入費	19,747円
参加費	22,000円		
合計	72,000円	合計	66,207円

(※差額5,793円については、本校PTA会計に納入)

2. 活動内容・成果・反省

◎活動内容

○児童とPTA会員と一緒に書店へ出向き書籍購入

○日頃の主な活動

- ・カナリア会 (芦北町内ボランティア団体) やALTによる読み聞かせ
- ・親子で読書をたのしもう!

◎成果

○児童とPTA会員と一緒に書店へ出向き書籍購入

ふれあい読書研究会委嘱事業委嘱校としての活動を1月31日(土)に「メトロ書店熊本本店」(アミュプラザくまもと内)へ伺い、児童と会員(教職員、保護者、その他家族)と一緒に、本校の図書室に置く本を選んでもらい購入しました。

芦北町内に書店もあまりなく、また普段行動するにも子どもたちはほとんど自家用車での移動が多いことから、移動手段を電車で移動して、保護者とマナーを学ぶ機会となればと開催しました。

子どもたちも本に触れ、本に大変興味を持っていることが実感しました。

保護者と一緒に読みたい本を選ぶ機会となり、また図書室に置く本を子どもたちに直接触れて選んだので、子どもたちの視点で読みたい本を置くことができました。

また、電車利用で他の利用客も多く、子どもたちにとっては、緊張したと思いますが、全校児童、保護者、先生方と一緒に電車に乗るという経験は、子どもたちにとって有意義な経験となりました。



<今回購入した本>



<1・2年生が購入した本>



<3・4年生が購入した本>



<5・6年生が購入した本>



<メトロ書店熊本本店での様子>



○日頃の主な活動

・カナリア会（芦北町内ボランティア団体）やALTによる読み聞かせ

芦北町内で活動されているカナリア会に来校いただき、授業の一環として、読み聞かせを行っています。また、ALTによる英語での読み書きせもを行っています。児童も興味を持って楽しみながら活動しています。

・親子で読書をたのしもう！

りんごの木の絵をプリントし児童に配付し、毎月読んだ本を記入しています。親子で読んだ時、一人で読んだ時と色を決めて、りんごの木に色を塗っています。学期の終わりには児童に感想を記入しています。親子で本に触れる機会となっています。



◎反省

- ・今年度は、当校創立150周年記念事業もあり、日程など計画をする際に影響してしまいました。
- ・児童分の交通費は補助できたが、保護者や教職員分については参加費を負担していただきました。可能であれば負担なしで活動をできればと思います。
- ・本購入をグループ分け（複式学級のため1・2年、3・4年、5・6年学級でグループ分け）をして、予算を決め購入を行いました。読みたい本を選べなかった児童もいたのではないかと思います。

3. 今後の取り組みについて

- ・本校は全校児童が少なくほぼ兄弟姉妹の様にお互いに思いやりながら学校生活を送っています。その関係性を大事にしながら、今回の経験を大切にして、児童だけでなく、保護者や先生方と一緒に学びを深める体験できる活動をしていきます。
- ・いろいろな図書館や書店を巡って本に触れる活動が継続してできるように本校だからできることをやっていきたいです。

4. 要望・その他

この度、委嘱校に選ばれたことにより、児童と保護者、教職員と一緒に活動ができました。また、他校の活動の様子など知ることができました。これからも他校との交流を通していろいろな活動を参考に、子どもたちが楽しく学べる機会が増えればと思います。この度はありがとうございました。

ふれあい読書研究会活動報告書

令和7年度

単位PTA名 (人吉市立東間小学校)	児童生徒数 (275) 人
1. 予算執行状況 (収入・支出)	
(収入) 県P 50,000円 単P その他	(支出) 書籍代50,000円
2. 活動内容・成果・反省	
◎活動内容	
<p>①家庭教育委員さんと読み聞かせボランティアさんによる読み聞かせの実施。月1～2回金曜日の朝の時間で実施した。各クラスに1名配置し、都合がつかない場合でも2クラス合同で実施できるようにした。</p> <p>②あいフェス(学校内のおまつり)にて、家庭教育委員さんによるパネルシアターを実施。普段触れる機会が少ないブラックシアターを用いて、2回公演で開催。</p> <p>③読書旬間にて絵本を借りる際に図書委員の児童と担当職員でくじ引きを準備し、「プラス2冊券」や、「しおり」がもらえる取組を行なった。同時期に図書室内で先生方のおすすめ絵本を紹介するコーナーを設置した。</p>	
◎成果	
<p>①毎回ほぼ違う読み手の方がクラスに入るので、色々な絵本を知ることができ、子どもたちの絵本に対する興味関心を高めることができたように思う。また、子どもたちは金曜日の朝の時間に楽しみができ、読み聞かせが始まる時にはわくわくした表情で待っていてくれるので、読み手の大人もやりがいを感じることができていた。</p> <p>②パネルシアターは普段の学校生活ではなかなか体験することがないので、2回公演どちらも子どもたちがたくさん観に来てくれていた。お話1つとクリスマスソングに合わせて楽器を鳴らしてもらってパネルを貼り進めるという、聞く側も聞くだけでなく活動する場面があり、とても楽しい時間となっていた。次年度以降も続けてもらえたらいいなと思う。</p> <p>③くじ引きを準備したことで子どもたちが次も楽しく絵本を借りられる工夫がよかった。絵本にちなんだキャラクターなどを台紙に貼ってラミネートされた手作りしおりは、子どもたちも大切に使っている様子。また、図書室を出たところの掲示板に学年ごとに借りた冊数が多い児童の名前と冊数が紹介されているので、読書への意欲が増す取組となっていたように思う。</p>	
◎反省	
<p>①新年度に家庭教育委員長が決まらなると動き出せないで、準備等に時間を取られ、1学期がほぼ読み聞かせを実施できなかった。4月は学校側も子どもたちも落ち着かないので仕方がないが、5月終わりごろから実施できるようにしていけたらと思う。</p> <p>②パネルシアターは数名で協力して行うので、担当になった保護者は平日の夜などに集まって練習をする必要があり、少し負担があったかもしれない。仕事をしている保護者が多いので、練習など無理なく取り組める活動として次年度へ残していけたらと思う。</p> <p>③読書旬間の時期に合わせて、現在図書室にない絵本で読みたいと思う絵本を子どもたちに尋ねたり、自由に書き込めるスペースを設置してもらおうようにしたりすればよかった。それにより、より子どもたちの意見を取り入れながら絵本購入に繋がられたように思う。</p>	
3. 今後の取組について	
<p>読み聞かせについては、子どもたちが絵本に親しむ時間として続けていきたい。我が子が卒業しても、子どもたちのために…と読み聞かせを続けてもらえるように、読み聞かせボランティア内の親交も深めていきたい。また、家庭教育委員と図書委員の児童とで協力して、図書室内の環境整備などをしていけたらと考えている。次年度の役員と話してみようと思う。</p>	
4. 要望・その他	
<p>今回、他校の取組みをたくさん知ることができ、とても勉強になりました。私たち東間小学校で取り入れられそうなものを子どもたちと一緒に選び、より絵本に親しめるような環境にしていきたいです。</p> <p>そして何より補助金、ありがとうございました。図書室の環境整備に繋がりました。来年度以降も子どもたちの絵本への興味関心の継続や読書の習慣付けへの取組みを続け、また3年後も応募させていただければと思います。</p>	

令和7年度ふれあい活動委嘱事業
ふれあい読書研究会

令和8年3月17日発行

熊本県PTA連合会

会	長	田尻	清孝
家庭教育担当副会長		後藤	亮
家庭教育委員長		川畑	愛子